

西宮市嘱託調理員組合のとりくみ

西宮市嘱託調理員組合

はじめに

みなさん、こんにちは。私からは手書きの資料をつくり、ほとんどの人が、はじめての組合づくりをする13人のメンバーが、プレゼンターとなって会計年度任用職員制度の説明を開催し、わずかですが、組織拡大がすすんだことを報告します。

役員だけで勉強してもアカン 組合員全員の意思統一をめざす

まず、嘱調組は毎年役員がほとんど入れ替わってしまう輪番制をとっていることを頭に入れておいてください。

昨年度の役員は、ほぼ組合活動に参加していなかったメンバーでした。私に至っては、まったく組合活動に参加したこともありませんでした。組合がなぜあるかも分からず、くじ引きにあたり、役員を引き受けました。

総会後に役員交代となるのですが、なんの引き継ぎ資料もなく、このときに初めて「会計年度任用職員制度になるから」と言われ、私は「なにそれ…」っていう始末で、不安な状態のままスタートになりました。

そこでまず、執行委員会で「組合について」と、「会計任用職員について」の勉強会を2回行いました。2回目の勉強会が終わり、「2020年ってすぐじゃない。

たった2回の勉強会ではまったく足りないし、これって役員だけが勉強してがんばってもあかんよね」となりました。

そして、組合員として組合とはどういったものなのか全員ちゃんと知っているかということでもまずは役員を調査してみました。「先輩に言われたし、みんな入っているから」という感じで、びっくりするぐらいみんな同じ理由でした。

そこで役員としてどうするかとみんなで見直しを出し合い考えました。まずは減っている闘争期の決起集会などへの動員の回復を目標にしました。「組合員全員の意思統一、納得すれば動員もとれるめざそう動員率100%！加入率100%！」を目標に組合員が全員強制参加の説明会を開催することになりました。

組合員に分かりやすい資料づくりへ

でも、ここで問題が、どうしたら全員が一発で興味をもてるのか。普段、調理員の私たちが真剣にお話することと言えば、お野菜などの食材や調理の火加減です。

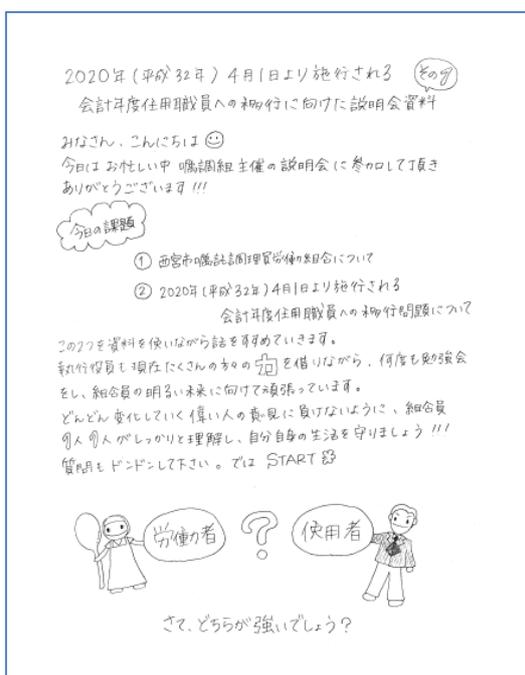
パソコンでつくられた文章を読むのはなかなか難しいし、漢字は読めないし、意味も分からない、老眼で明朝体を見るのもつらいということが分かりました。

このときに西宮市養護学校介助員労働組合が新しい介助員さんが仕事を続けら

2019年2月28日

れるように、介助用器具の名前とか、配置場所など、いろんなくみに写真を入れてとても分かりやすい小冊子をつくっていることを思い出しました。

これが私の中で大きなヒントとなり、写真は無いから「絵本みたいに目を引きように手作り資料をつくってみよう」と制作を開始しました。



手書きで目を引くよう工夫しました

私は目標を立てるのが大好きなんです。それも大きな目標だけじゃなくて、達成しやすい小さな目標をたくさん立てます。この手作り資料作成も目標です。

『老眼に優しい執行委員会』、だれでも分かる資料作り。ついでに加入率100%。執行委員会でも仕事の休憩中も、毎日、毎日、ああでもない、こうでもないと考える日々が始まり、たくさんの人を質問攻めにして巻き込みました。

全組合員を動かすために

資料作りと同時に、説明会に向けた開催実施方法も考えなければいけません。なんと言っても組合への理解が浅い、役員経験のない私たちが、西宮市内62校に分散する組合員を全員動かすには知恵がいります。

1日の開催ではただでさえ動員を減っている状態で無理がありますし、今回、勉強した役員が市内8ブロックに分かれて説明しても、どうしても歪みができます。

知恵を出し合い、作戦を練りに練った結果、組合員としての行動、自分のことは自分で守ろう。組合員としての第一歩として、曜日違いの5日設定で開催することにしたのです。

今回の説明会は加入率を上げるために組合未加入者も対象にしました。ただし、組合員は、組合費を払って情報を得ているということ、これ以降の未加入者は自分で情報収集をすること。なれ合いになっていた組合員と未加入者を明確化することにしました。

役員全員が学習会プレゼンターに

いつまでも誰かが一人に頼ってばかりでは嘱調組が弱体してしまうことも頭において、プレゼンターも初日を制作した私が担当し、その録音音声を役員全員で共有、あとの4日は資料を3つに分けて、残りの役員12人で割り振って、役員全員がプレゼンターになることにしました。

なぜ、私が全部やらなかったのかと言えば、役員として各自がしっかりと理解することによって、少なくとも役員が配

属されている13校の組合員さんが正しいことを教えて、それがどんどん、どんどん広がっていけると思ったからです。

5回の説明会では組合に対する期待と、任用が変わることへの関心の高さを知ることができました。多くの方から、「大変分かりやすい説明として資料です」というおほめの言葉もいただき、終わってみれば組合員を超える参加と、新たな組合加入も生まれました。

加入率100%の目標を立てたことによって、役員の組織拡大の意識も高くなり、昨年の新規採用者も例年になくすでにほとんどの人が加入しています。

づけるよう奮闘してくれることと思います。

声をかけ合って新役員の選出へ

さて、今年度の役員についてですが、今年度は委員長が同期や同じ学校の組合員に声をかけ、そこから声をかけた組合員がまた仲良しに声をかけ、という形で構成されています。

役職決めも私たちとは違い、用意したくじ引きを使うことなく、委員長から立候補で決まり、三役から他の役職もすべてすぐに決まりました。

会計年度へのたたかいに向けても学習意欲が高く、今回の組織集会にも三役で来ています。年末闘争も少なくなっている動員の回復に工夫をこらし、多数の組合員さんの参加を実現しました。今年度メンバーの三役は昨年にも増して盛り上がっている状況です。

嘱調組はこれからも先輩たちの運動によって勝ち取ってきた賃金、労働条件と、自校方式での調理を守り、西宮市の子どもたちに安全でおいしい給食を提供しつ